

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-01
授業科目	ITキャリアデザイン I
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義・演習
授業時間	30時間
単位数	1
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	面接試験で求められるビジネスマナーの基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と実技的な演習
達成目標	面接時の入退室及び自己PRができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 就職ガイダンス 2 自己分析 I 3 自己分析 II 4 自己分析 III 5 就活マナー 6 筆記試験対策 7 WEB選考対策 8 インターシップの基礎知識 9 業界研究 I 10 業界研究 II 11 仕事研究 I 12 仕事研究 II 13 自己PR作成 14 SPI対策 15 CAB対策
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-02
授業科目	ITキャリアデザインⅡ
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	マナー指導および企業研究・業界研究によって企業理解を深める
授業の進め方	テキストによる講義と実技的な演習
達成目標	マナー習得および業界が求める人物を知りと自己の課題を発見できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 履歴書作成 2 履歴書作成 3 履歴書作成 4 業界研究、職種研究 5 業界研究、職種研究 6 業界研究、職種研究 7 志望動機作成 8 志望動機作成 9 入退室方法の確認 10 面接トレーニング 11 面接トレーニング 12 面接トレーニング 13 面接試験における質問研究 14 面接試験における質問研究 15 エントリーシート作成 16 面接トレーニング 17 面接トレーニング 18 面接トレーニング 19 電子メールでの連絡方法 20 電子メールでの連絡演習 21 電話でのアポイントメント 22 電話でのアポイントメント演習 23 就職活動における自己管理 24 就職活動システムの利用方法 25 SPI対策、CAB対策 26 SPI対策、CAB対策 27 SPI対策、CAB対策 28 面接トレーニング 29 面接トレーニング 30 実技ロールプレイング
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-03
授業科目	一般教養 I
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	30時間
単位数	1
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	一般常識(数学・現代文)および就職適性検査の演習を行う
授業の進め方	反復練習と実技試験により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	就業後必要となる一般常識と教養の習得
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 漢字 基礎演習 2 漢字 基礎演習 3 漢字 基礎演習 4 漢字 基礎演習 5 漢字 基礎演習 6 漢字 項目別問題演習 7 漢字 項目別問題演習 8 漢字 項目別問題演習 9 漢字 項目別問題演習 10 漢字 項目別問題演習 11 漢字 試験直前問題演習 12 漢字 試験直前問題演習 13 漢字 試験直前問題演習 14 漢字 試験直前問題演習 15 漢字 試験直前問題演習
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-04
授業科目	IT基礎知識 I
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義・演習
授業時間	90時間
単位数	3
授業コマ数	45コマ(1コマ90分)
授業概要	基本情報技術者試験のシラバスに基づく基礎授業および演習を行う
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	基本情報技術者試験午前試験範囲の理解できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ハードウェア I 2 基礎理論 3 問題演習・解説 4 基礎理論 5 基礎理論 6 問題演習・解説 7 ハードウェア II 8 ハードウェア II 9 問題演習・解説 10 ハードウェア II 11 ソフトウェア 12 問題演習・解説 13 ソフトウェア 14 ソフトウェア 15 問題演習・解説 16 ソフトウェア、アルゴリズム 17 アルゴリズム 18 問題演習・解説 19 アルゴリズム 20 データベース 21 問題演習・解説 22 データベース 23 データベース 24 問題演習・解説 25 ネットワーク 26 ネットワーク 27 問題演習・解説 28 セキュリティ 29 セキュリティ 30 問題演習・解説 31 セキュリティ、システム構成要素 32 システム構成要素 33 問題演習・解説 34 システム構成要素 35 マルチメディア 36 問題演習・解説 37 システム開発 38 システム開発

	39 問題演習・解説 40 マネジメント 41 マネジメント 42 問題演習・解説 43 ストラテジ 44 ストラテジ 45 問題演習・解説
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における確認テストの得点で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-05
授業科目	IT基礎知識Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	90時間
単位数	3
授業コマ数	45コマ(1コマ90分)
授業概要	基本情報技術者試験午前問題の分野別問題の演習及び解答解説を通して知識の理解を深める
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義
達成目標	基本情報技術者試験午前問題の分野別問題の理解できる
教科書	オリジナル問題集
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 項目別問題演習 テクノロジⅠ 2 項目別問題演習 テクノロジⅠ 3 項目別問題演習【解説】 4 項目別問題演習 テクノロジⅡ 5 項目別問題演習 テクノロジⅡ 6 項目別問題演習【解説】 7 項目別問題演習 テクノロジⅢ 8 項目別問題演習 テクノロジⅢ 9 項目別問題演習【解説】 10 項目別問題演習 テクノロジⅣ 11 項目別問題演習 テクノロジⅣ 12 項目別問題演習【解説】 13 項目別問題演習 マネジメント 14 項目別問題演習 マネジメント 15 項目別問題演習【解説】 16 項目別問題演習 ストラテジ 17 項目別問題演習 ストラテジ 18 項目別問題演習【解説】 19 総合問題演習Ⅰ 20 総合問題演習Ⅰ 21 総合問題演習【解説】 22 総合問題演習Ⅱ 23 総合問題演習Ⅱ 24 総合問題演習【解説】 25 総合問題演習Ⅲ 26 総合問題演習Ⅲ 27 総合問題演習【解説】 28 総合問題演習Ⅳ 29 総合問題演習Ⅳ 30 総合問題演習【解説】 31 総合問題演習Ⅴ 32 総合問題演習Ⅴ 33 総合問題演習【解説】 34 総合問題演習Ⅵ 35 総合問題演習Ⅵ 36 総合問題演習【解説】 37 試験直前問題演習Ⅰ

	<p>38 試験直前問題演習Ⅰ</p> <p>39 試験直前問題演習【解説】</p> <p>40 試験直前問題演習Ⅱ</p> <p>41 試験直前問題演習Ⅱ</p> <p>42 試験直前問題演習【解説】</p> <p>43 試験直前問題演習Ⅲ</p> <p>44 試験直前問題演習Ⅲ</p> <p>45 試験直前問題演習【解説】</p>
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-06
授業科目	コンピュータリテラシー
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義・実習
授業時間	30時間
単位数	1
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	Officeソフト (Word・Excel・PowerPoint) の操作方法について学ぶ
授業の進め方	コンピュータを利用した実習および課題演習
達成目標	Word、Excel、PowerPointの基本的な操作方法を習得する
教科書	情報利活用 基本演習
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 コンピューターの基本操作 2 一般的なビジネス文書の作成 3 シンプルなレポートや報告書の作成 4 表・画像・図形を使った文書の作成 5 効果測定 6 プレゼンテーションの企画 7 わかりやすいストーリー構成 8 センスアップするレイアウトデザイン 9 イメージを伝えるイラスト・写真活用 10 効果測定 11 表作成の基本操作 12 見やすく使いやすい表にする編集操作 13 数式・関数を活用した集計表の作成 14 グラフの基本 15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-07
授業科目	Webシステム開発 I
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義・実習
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	HTML&CSS、JavaScriptの基本構文について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な実習
達成目標	JavaScriptとCSSを利用したWebページ作成ができる
教科書	これからWebをはじめる人のHTML&CSS、JavaScriptのきほんのきほん
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 開発環境の構築 2 簡単なHTMLファイルの作成 3 HTMLタグの種類と使い方 4 CSSの使い方 5 スタイル調整 6 領域の分け方 7 画像の取扱い方法 8 リンクの設定 9 スマートフォンデバイスへの対応方法 10 親要素の指定を引き継ぐ 11 CSSアニメーションの使い方 12 CSSフレームワークの使用法 13 グリッドシステムとは 14 フォームの作成 15 送信ボタンの設置 16 JavaScriptとは 17 変数について 18 日付の取扱い方 19 要素を取得し編集する 20 if構文 21 イベント処理 22 繰り返し処理 23 Ajax通信とは 24 JSONデータの使用法 25 配列 26 for構文 27 非同期通信とは 28 jQueryとは 29 Vue.jsとjQueryを組み合わせる 30 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-08
授業科目	Webシステム開発Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義・実習
授業時間	90時間
単位数	3
授業コマ数	45コマ(1コマ90分)
授業概要	JavaScriptを利用したプログラミングの基礎スキルの習得を行う
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な実習
達成目標	JavaScriptを使用した動的なWebページの作成ができる
教科書	3ステップでしっかり学ぶJavaScript入門[改訂2版] (技術評論社)
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 PHPとは 2 PHPスクリプトの動かし方 3 PHPと他の言語の違い 4 PHPツールの準備 5 開発環境の準備 6 PHPスクリプトの実行方法 7 ブラウザにメッセージを表示する方法 8 文字化けについて 9 リクエストパラメータ 10 演算子と変数 11 if文 12 switch文 13 for文、while文 14 foreach文と配列 15 foreach文と配列のキー 16 foreach文とチェックボックス 17 日時の取得 18 画像のランダム表示 19 入力データの形式チェック 20 パスワードのチェック 21 全角から半角への変換 22 サーバへの保存 23 ファイルのアップロード 24 データベースとは 25 データベースの作成 26 データの取得 27 データの検索 28 データの追加 29 データの削除 30 データの更新 31 フォームの情報をテーブルに追加 32 SQLスクリプトでデータベースを作成 33 ログイン、ログアウト処理 34 入力情報の登録、更新 35 ショッピングカート機能の作成 36 セッションとは 37 お気に入り機能の作成 38 VirtualBoxで仮想環境を構築

	<p>39 資産管理システムとは</p> <p>40 bootstrapの使用方法</p> <p>41 MySQLのインストール</p> <p>42 エラーメッセージの表示</p> <p>43 WordPressにおけるPHPの活用</p> <p>44 Web APIの使用</p> <p>45 実技試験</p>
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-09
授業科目	Python
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義・実習
授業時間	90時間
単位数	3
授業コマ数	45コマ(1コマ90分)
授業概要	Python3の基本文法とプログラムの実装を行う
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習
達成目標	CUIベースのプログラムをPythonで実装できる
教科書	新・明解 Python入門 (SBクリエイティブ)
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 Pythonの特徴 2 画面への表示とキーボード入力 3 制御・条件分岐 4 制御・条件分岐 5 制御・条件分岐 6 プログラムの構成要素 7 制御・繰り返し 8 制御・繰り返し 9 制御・繰り返し 10 オブジェクトと型 11 オブジェクトと型 12 文字列の基礎 13 文字列の操作 14 文字列の書式化 15 実技試験 16 リスト 17 リスト 18 リスト 19 リスト 20 タプル 21 辞書 22 集合 23 関数の基礎 24 関数の基礎 25 文書化文字列とアノテーション 26 名前空間とスコープ 27 高階関数とラムダ式 28 モジュール 29 パッケージ 30 実技試験 31 クラス 32 クラス 33 クラス変数とクラスメソッド 34 継承 35 継承 36 例外処理 37 例外処理 38 ファイル処理の基礎

	39	ファイル処理の基礎
	40	バイナリファイル
	41	総合実習
	42	総合実習
	43	総合実習
	44	総合実習
	45	実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価	
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-10
授業科目	Javaプログラミング 1
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義・実習
授業時間	30時間
単位数	1
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	Javaの基本文法とオブジェクト指向プログラミングの基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習
達成目標	オブジェクト指向プログラミングをベースとした各種プログラムをJavaで実装できる
教科書	新・明解 Java入門 第2版
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 Javaの特徴・学習のための準備 2 変数 3 制御構文・分岐、if文 4 制御構文・分岐、switch文 キーワード・識別子・演算子 5 制御構文・繰り返し do-while文・while文 6 制御構文・繰り返し for文 7 基本型と演算 8 配列 9 配列 10 コレクション 11 制御構文・配列の実習 12 実技試験 13 メソッド 14 メソッド 15 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-11
授業科目	Javaプログラミング2
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義・実習
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	Javaによるオブジェクト指向プログラミングを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習
達成目標	オブジェクト指向プログラミングをベースとした各種プログラムをJavaで実装できる
教科書	新・明解 Java入門 第2版
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 クラスの基本 2 日付クラスの作成 3 日付クラスの作成 4 クラス変数とクラスメソッド 5 クラス変数とクラスメソッド 6 パッケージ 7 クラスの派生と多相性 8 クラスの派生と多相性 9 クラスの派生と多相性 10 抽象クラス 11 抽象クラス 12 インタフェース 13 インタフェース 14 クラス・抽象クラス・インタフェースの実習 15 実技試験 16 文字と文字列 17 例外処理 18 総合実習 基礎 19 総合実習 基本的なプログラムの構造 20 総合実習 コンピュータで扱うデータ表現 21 総合実習 変数/定数と型 22 総合実習 演算と演算子 23 総合実習 配列の宣言・生成 24 総合実習 制御文 25 総合実習 クラスとオブジェクト 26 総合実習 クラスの関係 27 総合実習 クラスの継承 28 総合実習 例外処理 29 総合実習 30 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-12
授業科目	Excel基礎
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義・実習
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	Excelの理解を通してPC上での作業の基本を習得する
授業の進め方	コンピュータを利用した実習および課題演習
達成目標	Excelの活用とPC上のデータ管理の基礎が理解できる
教科書	Excel 最強の教科書 [完全版]
特記	
授業計画	1 見やすいデザイン (1) 2 見やすいデザイン (2) 3 見やすいデザイン (3) 4 見やすいデザイン (4) 5 見やすいデザイン (5) 6 セルの基本操作 (1) 7 セルの基本操作 (2) 8 セルの基本操作 (3) 9 セルの基本操作 (4) 10 セルの基本操作 (5) 11 関数と計算 (1) 12 関数と計算 (2) 13 関数と計算 (3) 14 関数と計算 (4) 15 関数と計算 (5) 16 関数と計算 (6) 17 関数と計算 (7) 18 関数と計算 (8) 19 関数と計算 (9) 20 関数と計算 (10) 21 データ分析とグラフ (1) 22 データ分析とグラフ (2) 23 データ分析とグラフ (3) 24 データ分析とグラフ (4) 25 データ分析とグラフ (5) 26 データ分析とグラフ (6) 27 データ分析とグラフ (7) 28 データ分析とグラフ (8) 29 データ分析とグラフ (9) 30 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-13
授業科目	Webサイト演習
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	HTML・CSSによるレイアウト手法を理解し、Webサイト公開方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習
達成目標	Web制作における正しいマークアップ作法、レイアウト手法を身に付ける
教科書	HTML5&CSS3標準デザイン講座 (翔泳社)
特記	
授業計画	1 HTMLの概要 2 サーバー設定 3 テーマ選定 4 テーマ選定 5 テーマ選定 6 テーマ選定 7 テーマ選定 8 Webサイトの作成 9 Webサイトの作成 10 Webサイトの作成 11 Webサイトの作成 12 Webサイトの作成 13 Webサイトの作成 14 Webサイトの作成 15 Webサイトの作成 16 Webサイトの作成 17 Webサイトの作成 18 Webサイトの作成 19 Webサイトの作成 20 Webサイトの作成 21 Webサイトの作成 22 Webサイトの作成 23 Webサイトの作成 24 Webサイトの作成 25 評価 26 評価 27 評価 28 評価 29 評価 30 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-14
授業科目	サーバサイドフレームワーク
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義・実習
授業時間	90時間
単位数	3
授業コマ数	45コマ(1コマ90分)
授業概要	Djangoを使用したサーバサイドアプリケーションの作成について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習
達成目標	Djangoを使用したWebアプリケーションの作成を学ぶ
教科書	動かして学ぶ! Python Django開発入門
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 Webアプリとは 2 Djangoの概要、全体像 3 Djangoプロジェクトの構造 4 ルーティング、ビューの概要 5 フォーム、モデル、テンプレートの概要 6 Webアプリ開発環境の構築 7 Webアプリ開発環境の構築 8 単一ページのDjangoアプリケーションを作成 9 単一ページのDjangoアプリケーションを作成 10 単一ページのDjangoアプリケーションを作成 11 単一ページのDjangoアプリケーションを作成 12 バージョン管理システムの構築 13 Bootstrapの適用 14 ベーステンプレートの作成 15 フォーム画面の作成 16 フォーム画面の作成 17 フォーム画面の作成 18 メール送信機能の作成 19 メール送信機能の作成 20 課題演習 21 課題演習 22 課題演習 23 課題演習 24 課題演習 25 認証用アプリケーションの作成 26 ユーザモデルの定義 27 Django認証機能の作成 28 Django認証機能の作成 29 Django認証機能のテンプレートの改変 30 Django認証機能のテンプレートの改変 31 モデルの作成 32 モデルの作成 33 Djangoアプリケーションにページを追加 34 Djangoアプリケーションにページを追加 35 Djangoアプリケーションにページを追加 36 Djangoアプリケーションにページを追加 37 Djangoアプリケーションとデータベースの連携

	<p>38 Djangoアプリケーションとデータベースの連携</p> <p>39 Djangoアプリケーションとデータベースの連携</p> <p>40 Djangoアプリケーションとデータベースの連携</p> <p>41 Djangoアプリケーションとデータベースの連携</p> <p>42 Djangoアプリケーションとデータベースの連携</p> <p>43 エラーページの作成</p> <p>44 バックアップ処理の作成</p> <p>45 実技試験</p>
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-15
授業科目	IT基礎知識Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義・演習
授業時間	30時間
単位数	1
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	基本情報技術者試験午後問題の考え方、解法の基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	基本情報技術者試験午後問題の基礎的な問題を解答できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 データ構造とアルゴリズム(1) 2 データ構造とアルゴリズム(2) 3 データ構造とアルゴリズム(3) 4 データ構造とアルゴリズム(4) 5 データ構造とアルゴリズム(5) 6 データ構造とアルゴリズム(6) 7 データ構造とアルゴリズム(7) 8 アセンブラ言語(1) 9 アセンブラ言語(2) 10 アセンブラ言語(3) 11 アセンブラ言語(4) 12 アセンブラ言語(5) 13 アセンブラ言語(6) 14 アセンブラ言語(7) 15 定期試験
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 応用的な知識を測定する試験で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-16
授業科目	IT基礎知識Ⅳ
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義・演習
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	基本情報技術者試験の午後問題の分野別の理解を深める
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	基本情報技術者試験の本試験問題レベルの解答力を身に付ける
教科書	オリジナル問題集・解説集
特記	
授業計画	1 情報セキュリティ (1) 2 情報セキュリティ (2) 3 情報セキュリティ (3) 4 ソフトウェア (1) 5 ソフトウェア (2) 6 ソフトウェア (3) 7 データベース (1) 8 データベース (2) 9 データベース (3) 10 ネットワーク (1) 11 ネットワーク (2) 12 ネットワーク (3) 13 データベース (3) 14 ソフトウェア設計 (1) 15 ソフトウェア設計 (2) 16 ソフトウェア設計 (3) 17 ソフトウェア設計 (4) 18 ソフトウェア設計 (5) 19 プロジェクトマネジメント (1) 20 プロジェクトマネジメント (2) 21 プロジェクトマネジメント (3) 22 プロジェクトマネジメント (4) 23 プロジェクトマネジメント (5) 24 経営戦略・企業と法務 (1) 25 経営戦略・企業と法務 (2) 26 経営戦略・企業と法務 (3) 27 総合問題演習 (1) 28 総合問題演習 (2) 29 総合問題演習 (3) 30 総合問題演習 (4)
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における確認テストの得点で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-17
授業科目	クラウド技術 I
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義・実習
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	クラウドの概要とAWSを利用したクラウドコンピューティングの実装方法について学ぶ
授業の進め方	コンピュータを利用した実習および課題演習
達成目標	クラウド環境で高可用性を実現するWeb開発環境の実装ができる
教科書	AWS Academyテキスト
特記	ITエンジニア経歴を持つ教員による実習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 クラウドのコンセプト 2 料金の基本 3 AWS グローバルインフラストラクチャ 4 AWS のサービスとサービスカテゴリ 5 AWS の責任共有モデル 6 クラウドのセキュリティ - AWS IAM 7 ネットワークの基本, Amazon VPC 8 VPC ネットワーク 9 VPC セキュリティ 10 VPC設定実習 11 Route 53, CloudFront 12 コンピューティングサービスの概要 13 Amazon EC2 14 Amazon EC2実習 15 Amazon EC2実習 16 Amazon EC2 のコスト最適化 17 コンテナサービス、AWS Lambda 18 AWS EBS 19 AWS S3 20 AWS EFS、AWS S3 Glacier 21 Amazon RDS 22 Amazon DynamoDB, Amazon Redshift 23 クラウドアーキテクチャの設計 24 Elastic Load Balancing 25 Amazon EC2 Auto Scaling 26 Amazon EC2 Auto Scaling実習 27 総合実習 28 総合実習 29 総合実習 30 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-18
授業科目	LinuxOS
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義・実習
授業時間	30時間
単位数	1
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	LinuxOSの概要と基本操作について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な実習
達成目標	LinuxOSの基本的な操作を習得する
教科書	Linux標準教科書(Ver. 3.0.3)
特記	ITエンジニア経歴をもつ教員による実習授業
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 Linuxのインストール 2 Linuxの概要 3 基本的なコマンド 4 基本的なコマンド 5 正規表現とパイプ 6 コマンド演習 7 基本的なコマンド2 8 基本的なコマンド2 9 viエディタ 10 エディタ演習 11 管理者の仕事 12 ユーザ権限とアクセス権 13 アクセス権演習 14 総合演習 15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-19
授業科目	AIプログラミング
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義・実習
授業時間	90時間
単位数	3
授業コマ数	45コマ(1コマ90分)
授業概要	機械学習フレームワークを利用した機械学習プログラムについて学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習
達成目標	前処理の実装、scikit-learnを使用した機械学習のモデル作成ができる
教科書	スッキリわかるPythonによる機械学習入門
特記	ITエンジニア経歴をもつ教員による実習授業
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 機械学習概要 2 基礎統計学 3 機械学習によるデータ分析の流れ 4 Pythonによる機械学習プログラミングの準備 5 pandasの基本 6 scikit-learnの基本 7 教師あり学習：分類 8 教師あり学習：分類 9 教師あり学習：分類 10 教師あり学習：回帰 11 教師あり学習：回帰 12 教師あり学習：回帰 13 分類におけるチューニング 14 分類におけるチューニング 15 分類におけるチューニング 16 回帰におけるチューニング 17 回帰におけるチューニング 18 回帰におけるチューニング 19 実習(教師あり学習：分類) 20 実習(教師あり学習：回帰) 21 実技試験 22 教師あり学習の総合演習 23 教師あり学習の総合演習 24 教師あり学習の総合演習 25 実践的前処理：データ結合、データ補完、外れ値除去 26 実践的前処理：データ結合、データ補完、外れ値除去 27 実践的前処理：データ結合、データ補完、外れ値除去 28 ロジスティック回帰、ランダムフォレスト、アダブースト 29 ロジスティック回帰、ランダムフォレスト、アダブースト 30 ロジスティック回帰、ランダムフォレスト、アダブースト 31 予測性能評価：適合率、再現率、f1-score、k分割交差検証 32 予測性能評価：適合率、再現率、f1-score、k分割交差検証 33 予測性能評価：適合率、再現率、f1-score、k分割交差検証 34 教師なし学習：次元削減 35 教師なし学習：次元削減 36 教師なし学習：次元削減 37 実習(教師あり学習：分類、アダブースト) 38 実習(教師あり学習：分類、アダブースト)

	<p>39 実習(教師あり学習 : 分類、アダプブースト)</p> <p>40 実習(教師あり学習 : 分類、アダプブースト)</p> <p>41 実習(教師あり学習 : 回帰、k分割交差検証)</p> <p>42 実習(教師あり学習 : 回帰、k分割交差検証)</p> <p>43 実習(教師あり学習 : 回帰、k分割交差検証)</p> <p>44 実習(教師あり学習 : 回帰、k分割交差検証)</p> <p>45 実技試験</p>
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-20
授業科目	クラウドコンピューティングA
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	実習
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	AWSのAIサービスを利用したプログラムの実装方法について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な演習
達成目標	AWSの各種AIサービスを使用したプログラム開発ができる
教科書	AWSでつくるAIプログラミング入門
特記	ITエンジニア経歴をもつ教員による実習授業
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 環境構築 2 Translate : テキスト翻訳 3 Translate : テキスト翻訳 4 Polly : 音声合成 5 Polly : 音声合成 6 翻訳、音声合成実習 7 Transcribe : 音声をテキストに変換 8 Transcribe : 音声をテキストに変換 9 音声変換実習 10 Rekognition : 画像の分析 11 Rekognition : 画像の分析 12 画像分析実習1 13 Rekognition : 画像の分析 14 Rekognition : 画像の分析 15 画像分析実習2 16 Textact : 画像からテキストを抽出 17 Textact : 画像からテキストを抽出 18 テキスト抽出実習 19 Comprehend : 文章から話題や感情を抽出 20 Comprehend : 文章から話題や感情を抽出 21 Comprehend : 文章から話題や感情を抽出 22 話題、感情抽出実習 1 23 話題、感情抽出実習 2 24 開発演習 25 開発演習 26 開発演習 27 開発演習 28 開発演習 29 開発演習 30 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-21
授業科目	MOS対策実習
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義・実習
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	マイクロソフト オフィス スペシャリストの取得レベルの技術を習得する
授業の進め方	コンピュータを利用した実習および課題演習
達成目標	マイクロソフト オフィス スペシャリストのWord, Excel, PowerPoint合格レベル
教科書	MOS対策テキスト Word 365&2019, MOS対策テキスト Excel 365&2019 (日経BP)
特記	
授業計画	1 WORDの基本操作 (1) 2 WORDの基本操作 (2) 3 WORDの基本操作 (3) 4 WORDの基本操作 (4) 5 WORDの基本操作 (5) 6 WORD実技試験 7 EXCEL基本操作 (1) 8 EXCEL基本操作 (2) 9 EXCEL基本操作 (3) 10 EXCEL基本操作 (4) 11 EXCEL基本操作 (5) 12 EXCEL実技試験 13 MOS Word演習 (1) 14 MOS Word演習 (2) 15 MOS Word演習 (3) 16 MOS Word演習 (4) 17 MOS Word演習 (5) 18 MOS Word演習 (6) 19 MOS Word演習 (7) 20 MOS Word演習 (8) 21 MOS Word演習 (9) 22 MOS Excel演習 (1) 23 MOS Excel演習 (2) 24 MOS Excel演習 (3) 25 MOS Excel演習 (4) 26 MOS Excel演習 (5) 27 MOS Excel演習 (6) 28 MOS Excel演習 (7) 29 MOS Excel演習 (8) 30 MOS Excel演習 (9)
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における確認テストの得点で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-22
授業科目	ITニーズの研究1
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義・演習
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	ITシステムの企画立案、作成の実習を通してITの企業ニーズを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な演習
達成目標	企画書、仕様書、スケジュールを作成し完成させる
教科書	オリジナルプリントによる演習授業
特記	
授業計画	1 システム企画の考え方を学ぶ 2 システム企画を考える 3 ITニーズの調査(1) 4 ITニーズの調査(2) 5 ITニーズの調査(3) 6 ITニーズの調査(4) 7 統計的研究方法の習得(1) 8 統計的研究方法の習得(2) 9 スケジュール管理 10 スケジュール作成 11 グループワーク① 12 企画書作成(1) 13 企画書作成(2) 14 企画書作成(3) 15 企画書作成(4) 16 企画書作成(5) 17 企画書作成(6) 18 企画書作成(7) 19 企画書作成(8) 20 企画書作成(9) 21 仕様書に必要な事項 22 仕様書作成(1) 23 仕様書作成(2) 24 仕様書作成(3) 25 仕様書作成(4) 26 仕様書作成(5) 27 仕様書作成(6) 28 仕様書作成(7) 29 仕様書作成(8) 30 仕様書発表
成績評価方法 (試験実施方法)	課題提出50%、授業内レポート50%の完成度で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-23
授業科目	ITオフィスソフト実習
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義・実習
授業時間	90時間
単位数	3
授業コマ数	45コマ(1コマ90分)
授業概要	Excel (VBA)を利用した作業の自動化、生産効率のアップの方法を習得する
授業の進め方	コンピュータを利用した実習および課題演習
達成目標	VBAを利用した処理の業務の自動化を実践できる
教科書	よくわかる Excel 2019/2016/2013 マクロ/VBA (FOM出版)
特記	
授業計画	1 Office365とは 2 Word Online 3 Excel Online 4 Publisher (1) 5 Publisher (2) 6 Outlook (1) メール 7 Outlook (2) 予定表 & ToDo 8 OneNote 9 Teams (1) 10 Teams (2) 11 Teams (3) 12 実技試験 1 13 Yammer 14 Whiteboard 15 SharePoint 16 Forms (1) 17 Forms (2) 18 Whiteboard 19 Lists 20 PowerBI紹介 21 課題演習 1 (1) 22 課題演習 1 (2) 23 課題演習 1 (3) 24 課題演習 1 (4) 25 PowerAutomate (1) 26 PowerAutomate (2) 27 PowerAutomate (3) 28 PowerApps (1) 29 PowerApps (2) 30 PowerApps (3) 31 PowerApps (4) 32 課題演習 2 (1) 33 課題演習 2 (2) 34 課題演習 2 (3) 35 課題演習 2 (4) 36 実技試験 2 37 Excelマクロ (1) 38 Excelマクロ (2)

	39 ExcelVBA (1) 40 ExcelVBA (2) 41 ExcelVBA (3) 42 ExcelVBA (4) 43 ExcelVBA演習 (1) 44 ExcelVBA演習 (2) 45 実技試験 3
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1-24
授業科目	スマートデバイス・アプリ開発
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義・実習
授業時間	90時間
単位数	3
授業コマ数	45コマ(1コマ90分)
授業概要	モバイルアプリケーション開発に必要なスキルの習得を行う
授業の進め方	コンピュータを利用した実習および課題演習
達成目標	はじめてのAndroidプログラミング 第5版 (SBクリエイティブ)
教科書	オリジナルプリント
特記	ITエンジニア経歴を持つ教員による実習
授業計画	1 スマートフォンアプリ開発概要 2 Android Studio (1) 3 Android Studio (2) 4 Android Studio (3) 5 Android Studio (4) 6 Android Studio (5) 7 Android Studio (6) 8 Android Studio (7) 9 Android Studio (8) 10 実技試験 (1) 11 Android Studio (9) 12 Android Studio (10) 13 Android Studio (11) 14 Android Studio (12) 15 Android Studio (13) 16 Android Studio (14) 17 Android Studio (15) 18 Android Studio (16) 19 Android Studio (17) 20 Android Studio (18) 21 Android Studio 課題演習 1 (1) 22 Android Studio 課題演習 1 (2) 23 Android Studio 課題演習 1 (3) 24 Android Studio 課題演習 1 (4) 25 Android Studio 課題演習 1 (5) 26 実技試験 (2) 27 Android Studio (20) 28 Android Studio (21) 29 Android Studio (22) 30 Android Studio (23) 31 Android Studio (24) 32 Android Studio (25) 33 Android Studio (26) 34 Android Studio (27) 35 Android Studio (28) 36 Android Studio (29) 37 Android Studio (30)

	38 Android Studio (3 1)
	39 Android Studio (3 2)
	40 Android Studio 課題演習 2 (1)
	41 Android Studio 課題演習 2 (2)
	42 Android Studio 課題演習 2 (3)
	43 Android Studio 課題演習 2 (4)
	44 Android Studio 課題演習 2 (5)
	45 実技試験 (3)
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-01
授業科目	ITキャリアデザインⅢ
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	120時間
単位数	4
授業コマ数	60コマ(1コマ90分)
授業概要	就職活動に関する適性試験や面接試験対策について深く学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と実技的な演習
達成目標	希望している企業からの早期内々定獲得を目指す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 企業研究 2 企業別志望動機作成 3 面接試験における質問研究 4 面接トレーニング 5 SPI対策 6 CAB対策 7 企業研究 8 企業別志望動機作成 9 面接試験における質問研究 10 面接トレーニング 11 SPI対策 12 CAB対策 13 企業研究 14 企業別志望動機作成 15 面接試験における質問研究 16 面接トレーニング 17 SPI対策 18 CAB対策 19 企業研究 20 企業別志望動機作成 21 面接試験における質問研究 22 面接トレーニング 23 SPI対策 24 CAB対策 25 企業研究 26 企業別志望動機作成 27 面接試験における質問研究 28 SPI対策 29 CAB対策 30 SPI対策 31 IT業界時事テーマの決定 1 32 情報収集 33 情報収集 34 ディスカッション 35 ディスカッション 36 まとめレポート作成 37 SPI対策 38 SPI対策

	39 CAB対策 40 CAB対策 41 IT業界時事テーマの決定 2 42 情報収集 43 情報収集 44 ディスカッション 45 ディスカッション 46 まとめレポート作成 47 SPI対策 48 SPI対策 49 CAB対策 50 CAB対策 51 IT業界時事テーマの決定 3 52 情報収集 53 情報収集 54 ディスカッション 55 ディスカッション 56 まとめレポート作成 57 SPI対策 58 SPI対策 59 CAB対策 60 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-02
授業科目	ITキャリアデザインⅣ
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	講義・演習
授業時間	30時間
単位数	1
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	入社後に求められるビジネスマナーの理解と実践を行う
授業の進め方	テキストによる講義と実技的な演習
達成目標	ビジネスマナーの基礎と実践力を身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 意識付け、ガイダンス 2 学校と職場の違い 3 職場のマナー 4 仕事の進め方 5 「ほう・れん・そう」とは 6 挨拶の種類 7 笑顔・お辞儀 8 正しい敬語の使い方 9 応対の基本 10 電話応対のマナー 11 電話の受け方 12 電話のかけ方 13 状況別の電話対応 14 実技試験対策 15 実技試験 電話応対実技
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-03
授業科目	卒業研究 I
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	実習
授業時間	90時間
単位数	3
授業コマ数	45コマ(1コマ90分)
授業概要	授業で学んだ知識を活用したITシステムの企画の立案を行う
授業の進め方	有識者の指導を基にグループワークなどを通じ、実践的知識の習得
達成目標	グループワークを通してシステムの企画立案、目標設定ができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	ITエンジニア経歴を持つ教員による実習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 卒業研究とは 2 企画立案の留意点 3 業界研究 4 業界研究 5 業界研究 6 業界研究 7 企画立案 8 企画立案 9 企画立案 10 企画立案 11 企画立案 12 企画立案 13 企画立案 14 企画立案 15 企画立案 16 企画立案 17 企画書レビュー 18 企画書レビュー 19 企画書レビュー 20 ドメインモデリングの理論 21 ドメインモデリングの実践 22 ドメインモデリング分析 23 ユースケースモデリングの理論 24 ユースケースモデリングの実践 25 ユースケースモデリング分析 26 ユースケースモデリング分析 27 ユースケースモデリング分析 28 ユースケースモデリング分析 29 ユースケースモデリング分析 30 ユースケースモデリング分析 31 卒業研究とは 32 企画立案の留意点 33 業界研究 34 業界研究 35 業界研究 36 業界研究 37 企画立案 38 企画立案

	39 企画立案 40 企画立案 41 企画立案 42 企画立案 43 企画立案 44 企画立案 45 企画立案
成績評価方法 (試験実施方法)	成果物100% 授業成果物に対する有識者の評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-04
授業科目	卒業研究Ⅱ
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	実習
授業時間	90時間
単位数	3
授業コマ数	45コマ(1コマ90分)
授業概要	企画立案したテーマの設計技法への応用を実践する
授業の進め方	有識者の指導を基にグループワークなどを通じ、実践的知識の習得
達成目標	各種分析手法・設計手法の理解をもとにした成果物の作成ができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	ITエンジニア経歴を持つ教員による実習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 企画書レビュー 2 企画書レビュー 3 企画書レビュー 4 ドメインモデリングの理論 5 ドメインモデリングの実践 6 ドメインモデリング分析 7 ユースケースモデリングの理論 8 ユースケースモデリングの実践 9 ユースケースモデリング分析 10 ユースケースモデリング分析 11 シーケンス図作成の理論 12 シーケンス図作成の実践 13 シーケンス図作成 14 シーケンス図作成 15 シーケンス図作成 16 シーケンス図作成 17 シーケンス図作成 18 シーケンス図作成 19 シーケンス図作成 20 シーケンス図レビュー 21 シーケンス図レビュー 22 シーケンス図レビュー 23 クラス図作成の理論 24 クラス図作成の実践 25 クラス図作成 26 クラス図作成 27 クラス図作成 28 クラス図作成 29 クラス図レビュー 30 クラス図レビュー 31 データベース設計の理論 32 データベース設計の実践 33 テーブル設計書の作成 34 テーブル設計書の作成 35 テーブル設計書の作成 36 テーブル設計書の作成 37 画面レイアウト設計の理論 38 画面レイアウト設計の実践

	39 画面レイアウトの作成 40 画面レイアウトの作成 41 画面レイアウトの作成 42 画面レイアウトの作成 43 画面レイアウトの作成 44 画面レイアウトの作成 45 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	成果物100% 授業成果物に対する有識者の評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-05
授業科目	卒業研究Ⅲ
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	実習
授業時間	150時間
単位数	5
授業コマ数	75コマ(1コマ90分)
授業概要	企画の詳細設計および設計に基づくプログラミングの実践を行う
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	設計工程での成果物をもとに実装(プログラミング)ができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	ITエンジニア経歴を持つ教員による実習
	1 テストの理論
	2 テスト仕様書の作成
	3 テスト仕様書の作成
	4 テスト仕様書の作成
	5 テスト仕様書の作成
	6 テスト仕様書の作成
	7 プログラミング(開発)
	8 プログラミング(開発)
	9 プログラミング(開発)
	10 プログラミング(開発)
	11 プログラミング(開発)
	12 プログラミング(開発)
	13 プログラミング(開発)
	14 プログラミング(開発)
	15 プログラミング(開発)
	16 プログラミング(開発)
	17 プログラミング(開発)
	18 プログラミング(開発)
	19 プログラミング(開発)
	20 プログラミング(開発)
	21 プログラミング(開発)
	22 プログラミング(開発)
	23 プログラミング(開発)
	24 プログラミング(開発)
	25 プログラミング(開発)
	26 プログラミング(開発)
	27 プログラミング(開発)
	28 プログラミング(開発)
	29 プログラミング(開発)
	30 プログラミング(開発)
	31 テストの実施
	32 テストの実施
	33 テストの実施
	34 テストの実施
	35 テストの実施
	36 テストの実施
	37 テストの実施
授業計画	38 テストの実施

	39 テストの実施 40 テストの実施 41 テストの実施 42 テストの実施 43 テストの実施 44 テストの実施 45 テストの実施 46 プログラミング (改修) 47 プログラミング (改修) 48 プログラミング (改修) 49 プログラミング (改修) 50 プログラミング (改修) 51 プログラミング (改修) 52 プログラミング (改修) 53 プログラミング (改修) 54 プログラミング (改修) 55 プログラミング (改修) 56 プログラミング (改修) 57 プログラミング (改修) 58 プログラミング (改修) 59 プログラミング (改修) 60 プログラミング (改修) 61 テストの実施 62 テストの実施 63 テストの実施 64 テストの実施 65 テストの実施 66 テストの実施 67 テストの実施 68 テストの実施 69 テストの実施 70 テストの実施 71 テストの実施 72 テストの実施 73 テストの実施 74 テストの実施 75 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	成果物100% 授業成果物に対する有識者の評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-06
授業科目	IT基礎知識V
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	講義・演習
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	基本情報技術者試験午後試験の問題演習および解答解説による応用力を身に付ける
授業の進め方	反復練習と実技試験により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	基本情報技術者試験午後試験の合格レベル
教科書	オリジナル問題集
特記	
授業計画	1 直前問題演習 1 と解説 (1) 2 直前問題演習 1 と解説 (2) 3 直前問題演習 1 と解説 (3) 4 直前問題演習 1 と解説 (4) 5 直前問題演習 1 と解説 (5) 6 直前問題演習 2 と解説 (1) 7 直前問題演習 2 と解説 (2) 8 直前問題演習 2 と解説 (3) 9 直前問題演習 2 と解説 (4) 10 直前問題演習 2 と解説 (5) 11 直前問題演習 3 と解説 (1) 12 直前問題演習 3 と解説 (2) 13 直前問題演習 3 と解説 (3) 14 直前問題演習 3 と解説 (4) 15 直前問題演習 3 と解説 (5) 16 直前問題演習 4 と解説 (1) 17 直前問題演習 4 と解説 (2) 18 直前問題演習 4 と解説 (3) 19 直前問題演習 4 と解説 (4) 20 直前問題演習 4 と解説 (5) 21 直前問題演習 5 と解説 (1) 22 直前問題演習 5 と解説 (2) 23 直前問題演習 5 と解説 (3) 24 直前問題演習 5 と解説 (4) 25 直前問題演習 5 と解説 (5) 26 直前問題演習 6 と解説 (1) 27 直前問題演習 6 と解説 (2) 28 直前問題演習 6 と解説 (3) 29 直前問題演習 6 と解説 (4) 30 直前問題演習 6 と解説 (5)
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-07
授業科目	ITドキュメント作成技術
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	講義・演習
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	ITに関連するドキュメントスキルを学び演習を行う
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	仕様書・マニュアル等ドキュメントの作成および応用ができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	ITエンジニア経歴を持つ教員による実習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 ITで必要とされるドキュメント 2 設計書 (1) 3 設計書 (2) 4 設計書 (3) 5 設計書 (4) 6 設計書 (5) 7 設計書 (6) 8 設計書 (7) 9 設計書 (8) 10 課題作成 (1) 11 テスト仕様書とマニュアル (1) 12 テスト仕様書とマニュアル (2) 13 テスト仕様書とマニュアル (3) 14 テスト仕様書とマニュアル (4) 15 テスト仕様書とマニュアル (5) 16 テスト仕様書とマニュアル (6) 17 テスト仕様書とマニュアル (7) 18 テスト仕様書とマニュアル (8) 19 テスト仕様書とマニュアル (9) 20 課題作成 (2) 21 提案書と計画書 (1) 22 提案書と計画書 (2) 23 提案書と計画書 (3) 24 提案書と計画書 (4) 25 提案書と計画書 (5) 26 報告書 (1) 27 報告書 (2) 28 報告書 (3) 29 報告書 (4) 30 課題作成 (3)
成績評価方法 (試験実施方法)	課題提出50%、授業内レポート50%の完成度で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-08
授業科目	サーバーサイドJava
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	実習
授業時間	90時間
単位数	3
授業コマ数	45コマ(1コマ90分)
授業概要	JavaによるWebサービス技術Springフレームワークの習得
授業の進め方	コンピュータを利用した実習および課題演習
達成目標	JavaによるWebサービスSpringフレームワーク技術の習得
教科書	Spring徹底入門 Spring FrameworkによるJavaアプリケーション開発
特記	ITエンジニア経歴を持つ教員による実習
授業計画	1 Spring Frameworkとは 2 SpringCore 3 SpringCore 4 SpringCore 5 データアクセス 6 データアクセス 7 データアクセス 8 データアクセス 9 Spring MVC 10 Spring MVC 11 Spring MVC 12 Webアプリケーションの開発 13 Webアプリケーションの開発 14 RESTful Webサービスの開発 15 RESTful Webサービスの開発 16 RESTful Webサービスの開発 17 Spring MVCの応用 18 Spring MVCの応用 19 Spring MVCの応用 20 Spring Test 21 Spring Test 22 Spring Test 23 Spring Security 24 Spring Security 25 Spring Security 26 Spring Data JPA 27 Spring Data JPA 28 Spring Data JPA 29 Spring MyBatis 30 Spring MyBatis 31 Spring MyBatis 32 Spring Thymeleaf 33 Spring Thymeleaf 34 Spring Thymeleaf 35 Spring Boot 36 Spring Boot 37 Spring Boot 38 Spring Boot

	39 フレームワーク (1 2) 40 フレームワーク演習 (1) 41 フレームワーク演習 (2) 42 フレームワーク演習 (3) 43 フレームワーク演習 (4) 44 フレームワーク演習 (5) 45 実技試験 (2)
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-09
授業科目	モバイルアプリケーションプログラミング
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	実習
授業時間	90時間
単位数	3
授業コマ数	45コマ(1コマ90分)
授業概要	クロスプラットフォームアプリの開発に必要なスキルの習得を行う
授業の進め方	コンピュータを利用した実習および課題演習
達成目標	現場で使える Flutter開発入門
教科書	オリジナルプリント
特記	ITエンジニア経歴を持つ教員による実習
授業計画	1 Flutter概要 2 レイアウト 3 レイアウト 4 レイアウト 5 アニメーション 6 状態管理 7 状態管理 8 状態管理 9 状態管理 10 データベース 11 データベース 12 データベース 13 データベース 14 ネイティブ連携 15 ネイティブ連携 16 ネイティブ連携 17 ネイティブ連携 18 課金 19 課金 20 課金 21 課金 22 ローカライズ 23 ローカライズ 24 ローカライズ 25 ローカライズ 26 リファクタリング・デバッグ 27 リファクタリング・デバッグ 28 リファクタリング・デバッグ 29 リファクタリング・デバッグ 30 CI/CD 31 CI/CD 32 CI/CD 33 CI/CD 34 Dartの言語仕様を知る 35 Dartの言語仕様を知る 36 Dartの言語仕様を知る 37 Dartの言語仕様を知る

	38 課題演習 39 課題演習 40 課題演習 41 課題演習 42 課題演習 43 課題演習 44 課題演習 45 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-10
授業科目	C言語基礎1
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	講義・実習
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	C言語の基本文法とCUIベースプログラムの作成・ネットワークプログラミングを行う
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習
達成目標	OS回りおよびネットワーク関連の基本プログラムをC言語で実装できる
教科書	基礎知識からコンピュータの本質まで C言語本格入門 (技術評論社)
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 インTRODクシヨン 2 データを識別して保持する (1) 3 データを識別して保持する (2) 4 データを加工して保存する (1) 5 データを加工して保存する (2) 6 プログラムの流れを記述する (1) 7 プログラムの流れを記述する (2) 8 プログラムの流れを記述する (3) 9 プログラムの流れを記述する (4) 10 プログラムの流れを記述する (5) 11 プログラムを機能でまとめる (1) 12 プログラムを機能でまとめる (2) 13 プログラムを機能でまとめる (3) 14 さまざまな前処理を行う (1) 15 さまざまな前処理を行う (2) 16 データをまとめて場所を指し示す (1) 17 データをまとめて場所を指し示す (2) 18 データをまとめて場所を指し示す (3) 19 データをまとめて場所を指し示す (4) 20 データをまとめて場所を指し示す (5) 21 データをまとめて場所を指し示す (6) 22 実技試験 C言語 (1) 23 異なるデータ型をまとめる (1) 24 異なるデータ型をまとめる (2) 25 異なるデータ型をまとめる (3) 26 異なるデータ型をまとめる (4) 27 動的メモリでデータの置く場所を自ら作る (1) 28 動的メモリでデータの置く場所を自ら作る (2) 29 データを保存して読み出す (1) 30 実技試験 C言語 (2)
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-11
授業科目	ITセキュアプログラミング
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	講義・実習
授業時間	30時間
単位数	1
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	プログラミング言語を利用したセキュリティリスクを学びプログラミング時の注意点を学ぶ
授業の進め方	コンピュータを利用した実習および課題演習
達成目標	セキュリティに強固なプログラミングができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ネイティブアプリプログラミング 2 バッファオーバーラン 3 ネットワークプログラミング 4 バックドア 5 セキュアプログラミング演習 (1) 6 セキュアプログラミング演習 (2) 7 セキュアプログラミング演習 (3) 8 セキュアプログラミング演習 (4) 9 Webプロトコル 10 クロスサイトスクリプティング 11 JavaScript 12 サニタイジング 13 Webセキュアプログラミング演習 (1) 14 Webセキュアプログラミング演習 (2) 15 Webセキュアプログラミング演習 (3)
成績評価方法 (試験実施方法)	課題提出50%、授業内レポート50%の完成度で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-12
授業科目	ネットワーク・サーバーセキュリティ運用
実務家教員	
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	演習・実習
授業時間	90時間
単位数	3
授業コマ数	45コマ(1コマ90分)
授業概要	サイバーセキュリティの基礎を習得し、ネットワーク設計に活用できる
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習
達成目標	サーバー構築、ネットワーク構築実習が行える
教科書	セキュリティ技術の教科書 (iTEC) 情報セキュリティマネジメント試験によく よる問題集(技術評論社)
特記	
授業計画	1 情報セキュリティとサイバーセキュリティ 2 インターネット技術の基礎(1) 3 インターネット技術の基礎(2) 4 セキュリティに対する脅威(1) 5 セキュリティに対する脅威(2) 6 暗号技術・認証技術・PKI(1) 7 暗号技術・認証技術・PKI(2) 8 通信の制御とサーバー攻撃対策技術(1) 9 通信の制御とサーバー攻撃対策技術(2) 10 Webシステムのセキュリティ(1) 11 Webシステムのセキュリティ(2) 12 メールシステムのセキュリティ(1) 13 メールシステムのセキュリティ(2) 14 DNSシステムのセキュリティ 15 セキュアプロトコル(1) 16 セキュアプロトコル(2) 17 セキュアプロトコル(3) 18 セキュアプロトコル(4) 19 システムセキュリティ(1) 20 システムセキュリティ(2) 21 情報セキュリティマネジメント(1) 22 情報セキュリティマネジメント(2) 23 情報セキュリティマネジメント(3) 24 実技試験 25 情報セキュリティマネジメント問題回答 (1) 26 情報セキュリティマネジメント問題回答 (2) 27 情報セキュリティマネジメント問題回答 (3) 28 情報セキュリティマネジメント問題回答 (4) 29 情報セキュリティマネジメント問題回答 (5) 30 情報セキュリティマネジメント問題回答 (6) 31 情報セキュリティマネジメント問題回答 (7) 32 情報セキュリティマネジメント問題回答 (8) 33 情報セキュリティマネジメント問題回答 (9) 34 情報セキュリティマネジメント問題回答 (10) 35 情報セキュリティマネジメント問題回答 (11) 36 情報セキュリティマネジメント問題回答 (12) 37 情報セキュリティマネジメント問題回答 (13)

	38 情報セキュリティマネジメント問題回答 (14) 39 情報セキュリティマネジメント問題回答 (15) 40 情報セキュリティマネジメント問題回答 (16) 41 情報セキュリティマネジメント問題回答 (17) 42 情報セキュリティマネジメント問題回答 (18) 43 情報セキュリティマネジメント問題回答 (19) 44 情報セキュリティマネジメント問題回答 (20) 45 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-13
授業科目	データサイエンス基礎
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	演習・実習
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	Pythonによる最低限のライブラリで実装するAIシステムについて学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	深層学習システムに必須な基本的な技術の実装に対応できる
教科書	PythonによるAIプログラミング入門
特記	ITエンジニア経歴を持つ教員による実習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 人工知能の概要 2 教師あり学習を用いた分類と回帰 3 教師あり学習を用いた分類と回帰 4 アンサンブル学習を用いた予測分析 5 アンサンブル学習を用いた予測分析 6 教師なし学習を用いたパターン検出 7 推薦エンジンを作る 8 論理プログラミング 9 論理プログラミング 10 ヒューリスティック探索 11 ヒューリスティック探索 12 遺伝的アルゴリズム 13 人工知能を使ったゲーム 14 人工知能を使ったゲーム 15 実技試験 16 自然言語処理 17 自然言語処理 18 連続データの確率的推論 19 連続データの確率的推論 20 音声認識 21 音声認識 22 物体検出と追跡 23 物体検出と追跡 24 人工ニューラルネットワーク 25 人工ニューラルネットワーク 26 強化学習 27 強化学習 28 畳み込みニューラルネットワークを用いたディープラーニング 29 畳み込みニューラルネットワークを用いたディープラーニング 30 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-14
授業科目	IoT実習
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	実習
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	IoTシステムの基礎を習得し、センサーおよびアクチュエーターによる演習を行う
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な実習
達成目標	IoTシステムの設計と実装ができる
教科書	Pythonで動かして学ぶ！あたらしいIoTの教科書（翔泳社）
特記	ITエンジニア経歴を持つ教員による実習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 IoTの概要 2 IoTの仕組み 3 RaspberryPiのセットアップ 4 RaspberryPiのセットアップ 5 RaspberryPiを使ってLEDを点灯させる 6 RaspberryPiを使ってLEDを点灯させる 7 RaspberryPiを使用した様々なLED制御 8 RaspberryPiを使用した様々なLED制御 9 センサーによるデータ取得 10 センサーによるデータ取得 11 RaspberryPiを使用した様々なセンサデータ取得 12 RaspberryPiを使用した様々なセンサデータ取得 13 クラウドストレージにデータを保存 14 クラウドストレージにデータを保存 15 様々なクラウドストレージ活用方法 16 様々なクラウドストレージ活用方法 17 IoTとデータの可視化 18 IoTとデータの可視化 19 様々なデータの可視化と活用方法 20 様々なデータの可視化と活用方法 21 IoTとアクチュエーターの遠隔操作 22 IoTとアクチュエーターの遠隔操作 23 アクチュエーターの活用方法 24 アクチュエーターの活用方法 25 IoTとAI 26 IoTとAI 27 IoTとAI 28 IoTシステムにおけるAIの活用方法 29 IoTシステムにおけるAIの活用方法 30 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-15
授業科目	クラウド技術Ⅱ
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	実習
授業時間	60時間
単位数	2
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	コンテナ技術、Dockerについて学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習
達成目標	コンテナの概要を理解し、自らコンテナを作成できるようになる
教科書	docker 基礎からのコンテナ構築
特記	ITエンジニア経歴を持つ教員による実習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 コンテナの仕組みと利点 2 隔離された実行環境を提供する 3 Dockerを構成する要素 4 Dockerの利点と活用例 5 AWS上でEC2を使ったDocker環境を用意する 6 EC2インスタンスを起動する 7 EC2インスタンスにSSH接続する 8 DockerEngineをインストールする 9 DockerでWebサーバーを作る 10 Dockerイメージを探す 11 Dockerコンテナを起動する 12 コンテナの停止と再開 13 ログの確認 14 コンテナの破棄・イメージの破棄 15 Dockerの基本コマンド 16 コンテナ起動から終了までの流れ 17 デタッチとアタッチ 18 コンテナをメンテナンスする 19 1回限り動かすコンテナの使い方 20 デタッチとアタッチ 21 コンテナをメンテナンスする 22 1回限り動かすコンテナの使い方 23 バインドマウントとボリュームマウント 24 データのバックアップ 25 bridgeネットワーク 26 ネットワークを新規に作成して通信を分ける 27 開発演習 28 開発演習 29 開発演習 30 開発演習
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-16
授業科目	オブジェクト指向分析設計
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義・演習
授業時間	90時間
単位数	3
授業コマ数	45コマ(1コマ90分)
授業概要	ユースケース駆動設計によるオブジェクト指向分析・設計の実習を行う
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習
達成目標	分析から設計・実装までのソフトウェアライフサイクルに対応できる
教科書	システムの分析と設計 図解とUMLによるアプローチ (大学教育出版)
特記	ITエンジニア経歴をもつ教員による実習授業
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 アジャイル開発の現状と課題 2 アジャイル開発の概要 3 アジャイル開発の特徴 4 アジャイル開発のプロセス 5 アジャイル開発の効果とリスク 6 上流工程を組み込んだ拡張アジャイル開発 7 アジャイル開発の事例 8 実習 9 事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計 10 事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計 11 事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計 12 実技試験 13 各種ツールの準備と実習 14 システム分析の本質 15 図解技法の応用 16 実習 17 実習 18 システム分析・設計の手順 19 UMLの基本 20 UMLの基本 21 システム分析の事例実習 22 システム分析の事例実習 23 システム分析の事例実習 24 実技試験 25 システム分析の事例実習 26 システム分析の事例実習 27 UMLを用いたシステム設計の基礎 28 システム設計の事例実習 29 システム設計の事例実習 30 総合実習 31 総合実習 32 総合実習 33 総合実習 34 総合実習 35 総合実習 36 総合実習 37 総合実習 38 総合実習

	39 総合実習 40 総合実習 41 総合実習 42 総合実習 43 総合実習 44 総合実習 45 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	課題提出50%、授業内レポート50%の完成度で評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-17
授業科目	クラウドコンピューティングB
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	演習・実習
授業時間	90時間
単位数	3
授業コマ数	45コマ(1コマ90分)
授業概要	JavaサーブレットとJSPを使用するサーバサイドプログラミングについて学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習
達成目標	ショッピングサイトのWebアプリケーションを開発、クラウドにデプロイをする
教科書	基礎からのサーブレット/JSP 新版
特記	ITエンジニア経歴を持つ教員による実習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 サーブレット/JSPとは 2 開発環境の準備 3 サーブレットのコンパイルと実行 4 サーブレットの基本 5 サーブレットによるリクエストの処理 6 いろいろなリクエストパラメータ 7 JSPの基本 8 JSPによるリクエストの処理とエラーページ 9 いろいろな画面遷移 10 フィルタの作成 11 サーブレットの詳細 12 HTTPのリクエストとレスポンス 13 データベース 14 Javaとデータベースの連携 15 JavaBeansとDAO 16 スコープとリクエスト属性 17 セッション 18 クッキー 19 外部データの読み込み 20 アクションタグ 21 EL 22 JSTL 23 MVCパターンとは 24 FrontControllerパターン 25 検索アクションと追加アクションの作成 26 ログイン機能の仕組みと作成 27 ログアウト処理 28 ショッピングサイトの構築 29 ショッピングサイトの構築 30 ショッピングサイトの構築 31 Webアプリケーションの公開 32 WARファイルとは 33 デプロイ 34 開発演習 35 開発演習 36 開発演習 37 開発演習

	38 開発演習 39 開発演習 40 開発演習 41 開発演習 42 開発演習 43 開発演習 44 開発演習 45 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-18
授業科目	フロントエンドフレームワーク
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	講義・実習
授業時間	90時間
単位数	3
授業コマ数	45コマ(1コマ90分)
授業概要	Vue.jsの基本文法とシングルページアプリケーションの作成方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習
達成目標	Vue.jsを使用してシングルページアプリケーションの作成ができる
教科書	動かして学ぶ！Vue.js開発入門（翔泳社）
特記	ITエンジニア経歴をもつ教員による実習授業
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 Vue.jsの概要 2 Vue.jsのインストール 3 データの表示 4 属性の指定 5 実習 6 ユーザの入力 7 ユーザの入力 8 ユーザの入力 9 ユーザの入力 10 実習 11 ユーザの操作 12 ユーザの操作 13 ユーザの操作 14 実習 15 実技試験 16 条件と繰り返し 17 条件と繰り返し 18 条件と繰り返し 19 条件と繰り返し 20 実習 21 Google Chartsとの連動 22 データの変化の監視 23 データの変化の監視 24 実習 25 データの変化の監視 26 データの変化の監視 27 実習 28 Markdownエディタ 29 総合実習 30 実技試験 31 アニメーションの表示 32 アニメーションの表示 33 実習 34 Vue.jsでのToDoリスト 35 Vue.jsでのToDoリスト 36 実習 37 部品にまとめる：コンポーネント 38 部品にまとめる：コンポーネント

	<p>39 部品にまとめる : コンポーネント</p> <p>40 部品にまとめる : コンポーネント</p> <p>41 実習</p> <p>42 JSONデータの表示</p> <p>43 JSONデータの表示</p> <p>44 JSONデータの表示</p> <p>45 実技試験</p>
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-19
授業科目	Webアプリケーション開発
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	演習・実習
授業時間	90時間
単位数	3
授業コマ数	45コマ(1コマ90分)
授業概要	Webシステム開発
授業の進め方	コンピュータを利用した実習および課題演習
達成目標	WebによるECサイト設計・開発
教科書	オリジナルテキスト
特記	ITエンジニア経歴を持つ教員による実習
授業計画	1 UI分析 2 Webシステム設計 3 Webシステム設計 4 Webシステム設計 5 Webシステム設計 6 Webシステム設計 7 Webシステム設計 8 Web開発環境設定 9 Web開発環境設定 10 Web開発環境設定 11 Web開発環境設定 12 Web開発環境設定 13 Web開発環境設定 14 Webプログラム設計 15 Webプログラム設計 16 Webプログラム設計 17 Webプログラム設計 18 Webプログラム設計 19 Webプログラム設計 20 データベース設計 21 データベース設計 22 データベース設計 23 データベース設計 24 データベース設計 25 データベース設計 26 プログラミング 27 プログラミング 28 プログラミング 29 プログラミング 30 プログラミング 31 プログラミング 32 プログラミング 33 プログラミング 34 プログラミング 35 プログラミング 36 プログラミング 37 プログラミング 38 プログラミング

	39 プログラミング 40 テスト 41 テスト 42 テスト 43 テスト 44 テスト 45 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2-20
授業科目	卒業制作企画
実務家教員	○
学部・学科	情報システム学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義・実習
授業時間	90時間
単位数	3
授業コマ数	45コマ(1コマ90分)
授業概要	学生の企画による卒業研究テーマ選定
授業の進め方	コンピュータを利用した実習および課題演習
達成目標	ニーズのリサーチおよび企画立案力を高める
教科書	オリジナルテキスト
特記	ITエンジニア経歴を持つ教員による実習
授業計画	1 ニーズの研究
	2 ニーズの研究
	3 ニーズの研究
	4 ニーズの研究
	5 ニーズの研究
	6 ニーズの研究
	7 IT技術の利用
	8 IT技術の利用
	9 IT技術の利用
	10 IT技術の利用
	11 IT技術の利用
	12 IT技術の利用
	13 IT技術の利用
	14 IT技術の利用
	15 企画立案 1
	16 企画立案 1
	17 企画立案 1
	18 企画立案 1
	19 企画立案 1
	20 企画立案 1
	21 企画立案 1
	22 企画立案 1
	23 企画立案 1
	24 企画立案 2
	25 企画立案 2
	26 企画立案 2
	27 企画立案 2
	28 企画立案 2
	29 企画立案 2
	30 企画立案 2
	31 企画立案 2
	32 企画立案 2
	33 企画立案 2
	34 テーマ選定
	35 テーマ選定
	36 テーマ選定
	37 テーマ選定
	38 テーマ選定

	39	テーマ選定
	40	実装提案
	41	実装提案
	42	実装提案
	43	実装提案
	44	実装提案
	45	実装提案
成績評価方法 (試験実施方法)	実技試験および課題評価100% 実技試験と課題の総合的な評価	
備考	出席が2/3に満たない場合は、不足する時間数に相当する補講に参加するか、課題を提出しなければ試験を受験できないものとする	